

南会津 のりんニュース



今月の写真：「会津高原のそば」(南会津町館岩地域)

福島県は、会津を中心に、全国でも有数のそば食文化が発達した県ですが、この度県では、そば新品種として「会津のかおり」を独自に開発・育成しました。平成14年に下郷町の在来そば品種を素材として選抜し育成された品種で、秋そば向けの品種であります。

写真は、会津高原で一面に咲き誇るそばの花です。

今月の内容：

●今月のトピックス

- ・朝日小「田んぼの生き物調査」を実施!!
- ・「福島県農業士全員研修会」を盛大に開催!!
- ・森と水の学習会を開催!!
- ・都市・農村の交流が着実に増加!!
- ・南会津地方新規就農激励会開催される!!
- ・ムラサキシメジ・サケツバタケ伏せ込み研修会を開催!!

●特集!!

遊休農地の解消に向けて

●今月のコラム

平成19年8月10日発行 福島県南会津農林事務所

今月のトピックス

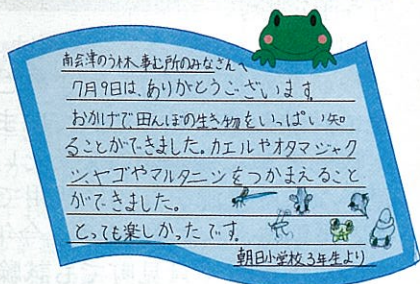
朝日小「田んぼの生き物調査」を実施!!

去る7月9日、只見町立朝日小学校周辺の田んぼや水路において、3年生児童16名が参加して「田んぼの生き物調査」が行われました。

はじめに、pHやCOD(水質汚濁指標)のパッケージ試薬を用いて、色の変化の具合を観察しながら、水路の水質調査を行いました。

また、子供たちは田んぼや水路に入り、タモ網を用いてカエルやドジョウなどの生き物を捕まえました。

子供たちは、捕まえた生き物の名前や生態について「アクアマリンふくしま」の職員からの説明を真剣に聞いていました。身近な田んぼや池に様々な生き物が生息していることを知る良い機会となったようです。子供たちは、今回の調



(写真上) 説明を聞き入る児童たち
(写真下) 児童からの感謝の手紙

査結果をまとめて、来年2月28日の校内総合学習発表会において成果発表する予定です。

(農村整備部)

「福島県農業士全員研修会」を盛大に開催!!

去る7月10日から11日にかけて、南会津町、只見町を舞台に、福島県内の指導農業士、青年農業士が一同に会した平成19年度福島県農業士全員研修会が開催されました。この研修会は、県指導農業士会と県青年農業士会の合同研修会ですが、企画や現地案内などの運営は地元南会津の農業士が行いました。



現地研修会の様子

研修会は、南会津地域の気象条件を活用し優れた農業経営を実現している4経営体(南会津アグリサービス、湯田浩仁氏、馬場孝法氏、(有)さんべ農園)への訪問、また地域の代表的作物である南郷トマトの選果場見学が行われるなど、南会津地域の多くの現地に足を運んでいただきました。また、夜の部では只見町「湯ら里」において情報交換会が行われ、同町の指導農業士である目黒吉久さんが加わる「天領只見仙嶽太鼓」が披露されるなど、郷土の伝統芸能文化にも触れていただきながら有意義な情報交換を行っていただきました。

(2ページに続く)

(1ページから続く)

今回の研修会に参加された農業士の方からは、豪雪地帯であり県内でも条件が不利な地域でありながら、素晴らしい経営者が数多いことに感動したという声が多く聞かれました。また、大自然に恵まれ、素晴らしい地域資源が沢山あるという声も聞かれ、南会津の可能性を改めて感じる事ができた研修会でした。
(農業普及部)

森と水の学習会を開催!!

今年も地元小学生を対象にイワナの放流を通した「森と水の学習会」を開催しました。

南会津森林土木協会では、農林事務所と合同で毎年西部地区と東部地区でそれぞれ地元小学生を対象にこの学習会を開催しています。今年は7月3日に鹿水川で南郷第2小学校2・3年生17人と7月11日に戸石川で楯原小学校5年生28人が参加しました。



建設業協会青年部の皆さんを先生に、手作りの濾過器や治山ダムの模型を通して、泥水がきれいになっていく様子や、ダムが土石流を止める様子を体験し森の大切さを学習しました。最後に漁協の皆さんの協力を得てイワナの稚魚3千匹を放流し、森が育む水の大切さを実感して学習会は終了となりました。
(森林林業部)

都市・農村の交流が着実に増加!!

地域資源を活用した都市農村交流を促進し、もって交流人口の増大そして地域の活性化を目指す南会津地方グリーン・ツーリズム推進会議(会長 JA会津みなみ星泰蔵代表理事専務)が、去る7月11日に開催され、各町村・実践団体より昨年度の交流実績及び今年度の計画等について意見交換を行いました。

現在、南会津地方の各地では、アスパラガス収穫体験や田植え体験などの農林業体験、尾瀬を含めた自然体験など、さまざまな体験・滞在型観光が行われている状況です。

今後、各町村・実践団体において、南会津地方の豊かな地域資源を活用した都市農村交流事業が展開・発展されていくことが望めます。

なお、今後の当推進会議の計画としては、(1)各町村・実践団体における情報の共有、(2)都市・農村交流に関する研修会、(3)首都圏へのPR等を実施していく予定です。

(地域農林企画室)

南会津地方新規就農者激励会 開催される!!

去る7月20日に南郷開発総合センターにおいて激励会を開催しました。

今年度は5月1日調査段階で12名、会議時点では14組の新規就農者が農業経営を開始しております。新規就農者の方々は県指導農業士や各生産組織代表をはじめ、関係機関団体等から激励の言葉を受けて就農の決意を發表しました。



激励会の様子

産地の維持発展のためには新しい方々の参加が必要不可欠ですので、これからも就農促進と仲間づくりをすすめて、新規就農者の経営安定化のために寄与していきたいと考えています。

(農業普及部)

ムラサキシメジ・サケツバタケ 伏せ込み研修会を開催!!

去る7月11日、南会津町伊南地区において、県きのこ振興センター職員を講師にムラサキシメジ・サケツバタケ菌床伏せ込み研修会が開催され、伊南地区山菜きのこ栽培研究会の会員11名が参加しました。



伏せ込みの様子

栽培方法の講義の後、耻風地区の広葉樹林内において伏せ込みの技術研修を行いました。今

秋には2種類とも発生が期待されることから、試食や試験販売を通じ、今後の栽培の可能性について検討を行う予定です。

今回伏せ込みを行った2種類は、林業研究センターで試験研究が行われてきたきのこで、今年から県内各地で試験栽培が始められています。林床を活用して比較的簡単に栽培が行えるということで、南会津の豊かな森林資源を有効に活用できる栽培作物になることが期待されます。なお、今年はムラサキシメジを中心に下郷町や只見町でも試験栽培が行われています。

(森林林業部)

遊休農地の解消に向けて

管内で、実際に作物が作付けされている農地は、昭和60年には4,380haでしたが、平成17年には3,072haとなりこの20年間で1,308ha、29.8%も減りました。

反面、過去1年以上作物が作付けされておらず、今後も作付けする意向のない農地(耕作放棄地)は、この20年間で191ha増え、401haとなり、農地全体に占める割合は11.5%におよび、全国の耕作放棄地率(9.7%)と比べても高い割合となっています。

このような遊休農地を放置しますと、雑草や雑木の繁茂や、病虫害の温床となってしまうばかりか、治水機能など農地の持つ様々な機能が失われ洪水や土砂崩れなどの災害の一因にもなりかねません。代々受け継がれてきた貴重な財産を有効に活用し、美しい農村の風景を次世代に引き継いでいくことは、我々に課された重大な責務と考えられます。

このような状況を踏まえ国(農林水産省)では、全国の市町村に今後5年間の「遊休農地解消計画」の策定を求めて



パワーユニット



下郷町鶴ヶ池地区における遊休農地への牛の放牧

おり、去る7月26日に東北農政局農村計画部農村振興課の担当者が南会津町を訪れ、町の「遊休農地解消計画」の策定状況と推進

にあたっての意見・要望等について聞き取りを行いました。町からは地域実情に即したより効果的な補助事業を求める要望等が出されました。

県では遊休農地発生防止のための活動や、遊休農地を解消するための農地の再整備、作物栽培に必要な生産資材の導入など遊休農地を利用して行う様々な活動への支援として、「稔りの農地総合再生事業」を実施してきており、平成19年度南会津地方においては2件の取組みがなされています。

このうち、下郷町認定農業者の金子政彦氏(鶴ヶ池地区)は南会津地方で初となる遊休農地の活用による牛の放牧を行っています。

実施にあたっては補助事業により、電気牧柵等の資材、種苗・肥料等の草地化に必要な資材の導入がなされました。

7月上旬より放牧が開始されており、9月中旬まで常時10頭の牛を放牧し餌として茅やクズ等の雑草を除草するとともに、今後は採草放牧地として活用していく予定です。

遊休農地解消のため、皆様からのご意見、アイデア等をお待ちしておりますのでよろしくお願いいたします。

(農業振興部)



放牧された牛

農林事務所からお知らせ

第2回農業総合センターまつり

と き: 平成19年9月8日(土)・9日(日)
午前9時から午後4時まで
9日は、午後3時まで

と ころ: 福島県農業総合センター
(郡山市日和田町高倉)

2年目を迎えた農業総合センター
農業の最先端かつ最前線の技術を御覧下さい。

イベント

- 最新の研究成果展
- おもしろ実験体験
- 農業お気楽セミナー
- ちびっ子動物園
- スイートコーンもぎ取り体験(先着500名)
- オリジナル品種等試食コーナー ほか

「小ボラ・大ホラ」

南会津に赴任、第一声は、4月28日、下郷の「戸赤山桜まつり」だった。

自称「フォーク系シンガー・ソングライターのマッコイおじさん」で、田舎でデビューしたのは、7年前の実弟企画のイベントで唄われたのがきっかけである。その後、2年間、飯館村などで野外コンサート等を主催しイベント企画のノウハウを習得した。そして、2年前に小さなボランティア組織(小ボラ)として「ボランティアの創芸舎マッコイ」を立ち上げた。コンサートを中心に大小合わせて年間20回程度開催(全て無料)している。

僕の歌は「農唄(農業・農村にまつわる歌)」と勝手に定義付けし、フォークソング系の曲を付けてギターを弾き語りをしている。年に2~3曲くらいは新曲を作るが、消費者への地域農産物のPRソングや農業者などを励ますメッセージソングである。オリジナルは30数曲で、最近では、7月に作った曲で『アスパラ王子さま』という歌



県農業総合センター(郡山市)にて

がある。地元特産アスパラのPRと生産農家を励ます歌である。

7月28日には旧田島の旧山王茶屋でコンサートを主催した。地元の農業者などをはじめ郡山市や志木市からミュージシャン5名の出演協力があり、南会津の初ライブにしては予想外のお客様もあり一応僕としては満足している。

これからも「農業者と消費者との絆づくりコンサート」を開催し、地域の活性化に少しでもお役に立てればと、秋の第二弾を計画しております。

つついライブでは、盛り上げるために、でっかいことを口走ってしまうことが多いのですが、大ホラ野郎と言われたいように頑張りたいと思っています。

(マッコイおじさん こと 農業普及部副部長 増子良一)

農林事務所からお知らせ

福島県の農林水産業情報満載!! メールマガジン発行のお知らせ

福島県農林水産部では、福島県の農林水産業や旬の農林水産物、イベントなどの情報を迅速に、分かりやすく皆様にお届けするために、メールマガジン「ふくしま食・農通信」を発行しています。ぜひご覧ください。

※詳しくは、地域農林企画室へお尋ね下さい。

- 内容：◆食と農に関する話題の紹介
◆地域の農林水産物や直売所などの情報
◆イベントなどの県からのお知らせ
◆農林水産業の現状や用語解説のコーナー

登録方法：

メールマガジンの配信を希望される方は、下記のアドレスにアクセスし、登録フォームに電子メールアドレスを入力してください。

■メールマガジン登録用ホームページ

<http://www.pref.fukushima.jp/norinsuisan/mailmag/>

※携帯電話等には対応していません。



お問い合わせ先はこちら

〒967-0004

福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所 地域農林企画室

電話 0241-62-5866 FAX 0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。



この広報誌は古紙配合率100%再生紙とSOY(大豆)インキを使用しています。